

調査団報告書

調査No.20

調査内容

名古屋の夏はなぜ暑い？

調査手順

郷土資料コーナーの気象関係の棚を見てみよう。『名古屋の気候環境 暑さ寒さの原因を探る』と『データで見る名古屋の気象 名古屋は本当に暑い？ 改訂版』が見つかった。この2冊によると、濃尾平野上空に高気圧が停滞すること、大規模なフェーン現象が発生しやすいこと、都市部のヒートアイランド現象が主な原因として考えられるそうだ。『データで見る名古屋の気象』p18 には、暑さの4条件として、高温・多湿・多照・弱風がある。この4つを比較すると、東京・名古屋・京都・大阪の中で、名古屋は特に蒸し暑い都市だと言えるそうだ。

本には最近のデータが載っていないので、気象庁のホームページを見てみた。「過去の気象データ検索」を使うと、毎日の気温や湿度を地域ごとに調べることができる。うう、8月の気温を見るだけで暑い。ただ、最高気温や平均気温を見ると、名古屋だけが飛び抜けて暑いというわけではないみたい。

調査結果

名古屋の暑さには地形的な要因や自然現象が関わっていて、蒸し暑いことが過ごしにくさに影響しているようだ。『大正昭和名古屋市史』第9巻 p19 にもこんなことが書いてあった。「夏季は、高温な上に水蒸気を多量に含んだ南東風が吹きこんで、湿度を高くし蒸し暑くなり、惰眠を催させる。」名古屋の蒸し暑さは昔からなんだ…。いや、気持ちをきりかえて、快適に過ごせる方法を探そう！今度は緑のカーテンの作り方を調べてみようかな。

＜今回の調査で使った主な資料＞

『名古屋の気候環境 暑さ寒さの原因を探る』(大和田道雄／編著 荘人社 1980)

『データで見る名古屋の気象 名古屋は本当に暑い？ 改訂版』

(新谷光三／著 日本気象協会東海本部 1996)

『大正昭和名古屋市史』第9巻(名古屋市／編 名古屋市 1955)

気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp>)

